

大規模災害時廃棄物対策北海道ブロック協議会(第21回)
災害廃棄物処理セミナー 開催報告

開催概要

<目的>

道内の全市町村及び一部事務組合（広域連合を含む）、北海道本庁及び振興局の災害廃棄物対策担当職員並びに災害時支援協定の対象となり得る民間事業者を対象とし、災害廃棄物処理計画の策定をはじめとする事前準備の必要性、ならびに災害廃棄物処理に係る平時からの自治体、民間事業者の連携の重要性について認識を共有すること。

<参加者>

- 自治体等職員 59名
（道、振興局、市町村、一部事務組合、広域連合）
- 民間事業者 15名
（北海道環境保全協会、北海道産業資源循環協会等）



セミナーの様子

開催概要

日程 令和7年12月17日(水)13時～16時

会場 北海道中小企業会館

参加者 74名(会場13名、オンライン61名)

次第

1. 災害廃棄物処理の基礎知識及び計画策定等の事前準備の必要性
(事務局)
2. 災害時のし尿処理について
(大正大学 岡山 朋子教授)
3. 産官学連携による災害廃棄物処理における課題と展望
(株)奥村組 大塚 義一氏)
4. パネルディスカッション
過去の災害事例を踏まえて、
大規模災害発生前に自治体が備えておくべき事項について
(大正大学 岡山教授、(株)奥村組 大塚氏)

講演内容

1. 災害廃棄物処理の基礎知識及び計画策定等の事前準備の必要性（事務局）

講演の目次

- (1) 災害廃棄物とは
- (2) 災害廃棄物処理の流れ(初動対応)
- (3) 仮置場の設置とその重要性
- (4) 災害廃棄物処理の体制
- (5) 補助金申請について

※講演内容はエリア分科会後の基礎講座と同様

2. 災害時のし尿処理について（大正大学 岡山 朋子教授）

講演の目次

- (1) 災害時の避難所のトイレ管理と災害廃棄物処理
- (2) 能登半島地震の避難所トイレの実態
- (3) トイレパニックを防ぐ災害トイレの備え

- ✓ し尿処理は断水後24時間以内に生じる緊急の課題
- ✓ 仮設トイレ、トイレカー、マンホールトイレ、携帯・簡易トイレ
それぞれの特徴を理解して備えることが重要



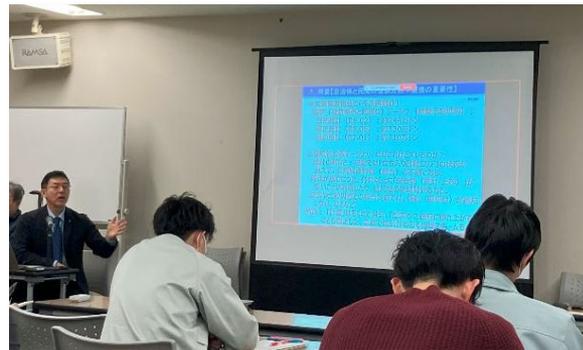
岡山教授講演の様子

講演内容

3. 産官学連携による災害廃棄物処理における課題と展望 (株奥村組 大塚 義一氏)

講演の目次

- (1) 自治体と民間の役割分担や連携の重要性
- (2) 災害廃棄物処理の基礎知識
- (3) 産官学連携の意義
- (4) 民間事業者の役割と期待されること
- (5) 支援協定のメリットと課題
- (6) 能登半島地震の事例: 仮置場運営の工夫 他
- (7) 今後の課題と展望



大塚氏講演の様子

- ✓ 北海道では極寒複合災害(凍結、ホワイトアウト)が想定される。
- ✓ 官と民が「真のパートナー」として手を携え、北海道の強靱化を進められるように思う。

4. パネルディスカッション

過去の災害事例を踏まえて、大規模災害発生前に自治体が備えておくべき事項について
(大正大学 岡山教授、(株奥村組 大塚氏)

大塚氏

- 発災後すぐに仮置場を設置しないと、勝手仮置場が発生するが、平時から備えていないとすぐに仮置場を設置することは難しい。
- 仮置場は重機が出入りするため、整地、敷鉄板が必要な場合もあり土木、建設業の知見も必要になる。



パネルディスカッションの様子

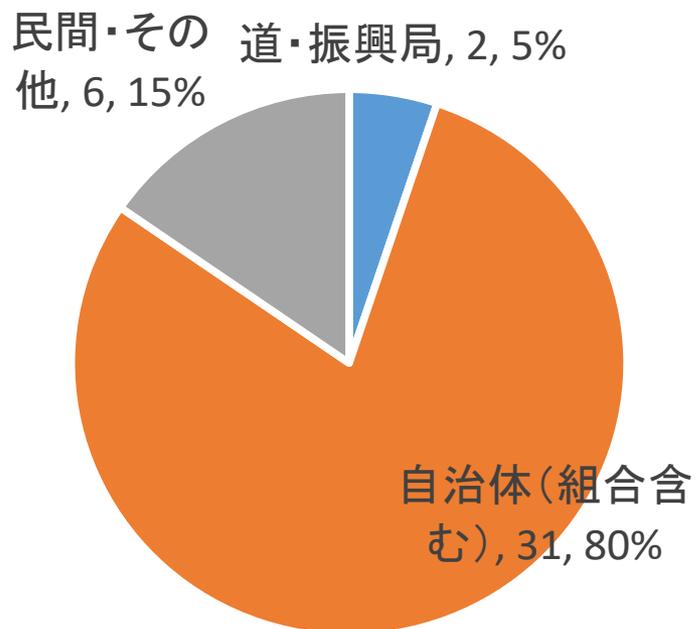
- 水害時に住民のゴミの排出を止めることは困難。いち早く仮置場を設置するか、いつまでに設置できるのか広報することが重要。
- 市町村が普段取り扱ってない廃棄物は全て処理が難しい。産業廃棄物、建設事業者等との連携が必要。

岡山教授

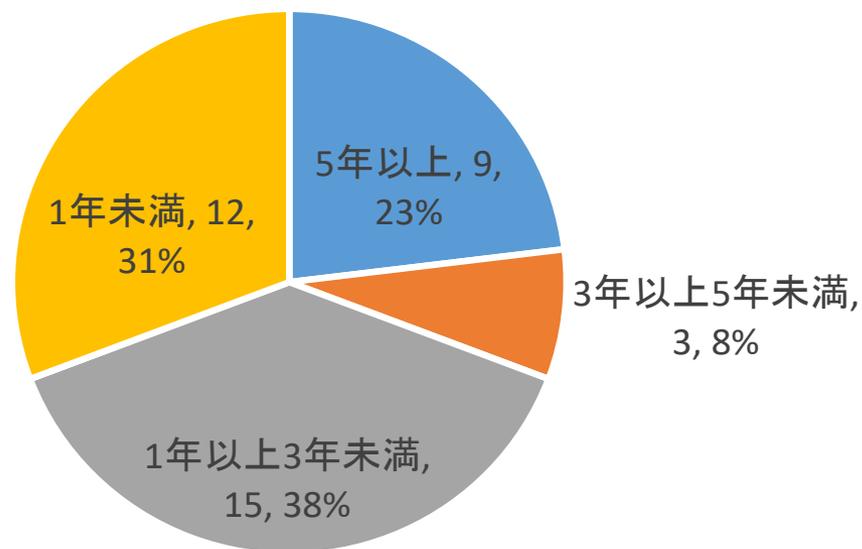
事後アンケート結果

●総回答数: 39

●回答者所属

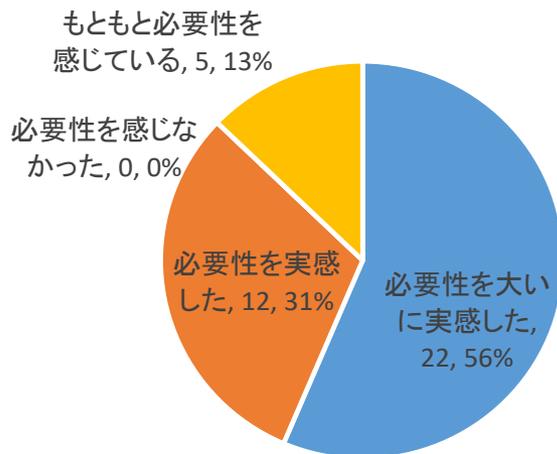


●廃棄物関連業務の経験年数

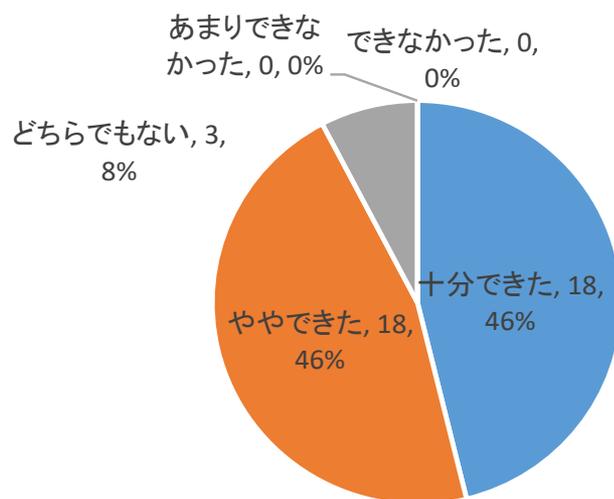


事後アンケート結果

●災害廃棄物処理に係る事前準備の必要性について、意識の変化はありましたか。

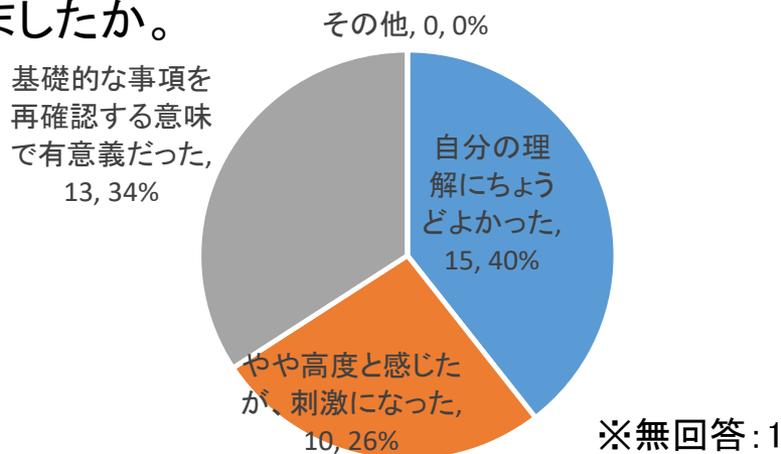


●災害廃棄物処理への対応について、具体的にイメージできましたか

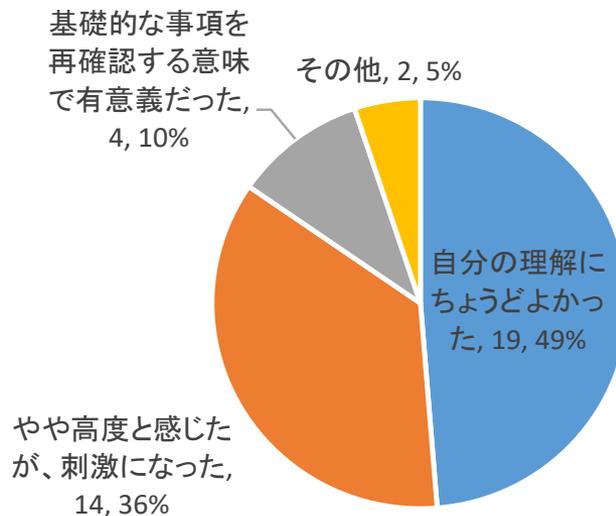


事後アンケート結果

●講演1(災害廃棄物処理の基礎知識及び計画策定等の事前準備の必要性)について、どのように感じられましたか。



●講演2(避難所トイレ管理とし尿処理～能登半島地震事例より)について、どのように感じられましたか。

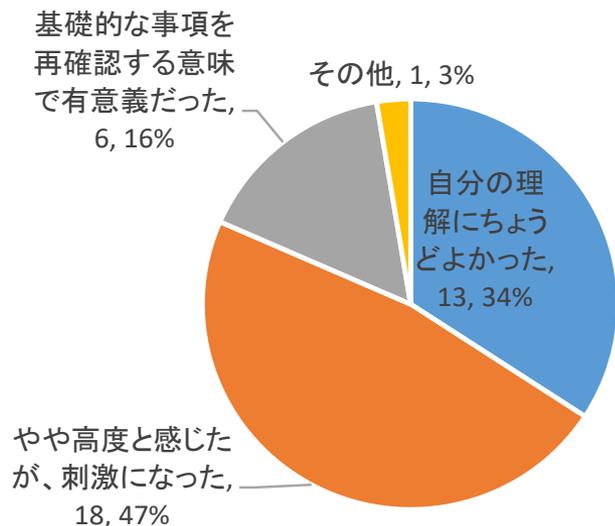


【その他】

- ・大変素晴らしいご講演で、勉強になりました
- ・トイレの確保や避難所でのトイレ管理について認識をしていなかったもので、新たな認識を持つことができた

事後アンケート結果

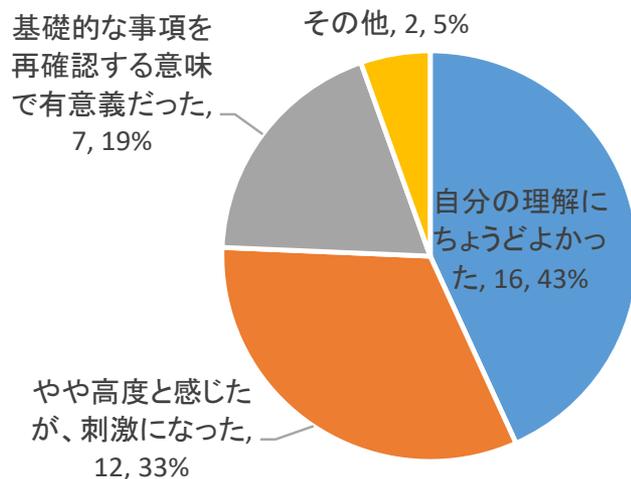
●講演3(産官学連携による災害廃棄物処理における課題と展望)について、どのように感じられましたか。



【その他】
・建設事業者の活動について、把握していなかったので学ぶことができた

※無回答:1

●パネルディスカッションについて、どのように感じられましたか。



【その他】
・一人一人の返答の話が長過ぎたので、もう少しディスカッションを細かくやり取りしてほしかった
・オンラインでの参加ということもあり、うまくイメージができなかった

※無回答:2

事後アンケート結果

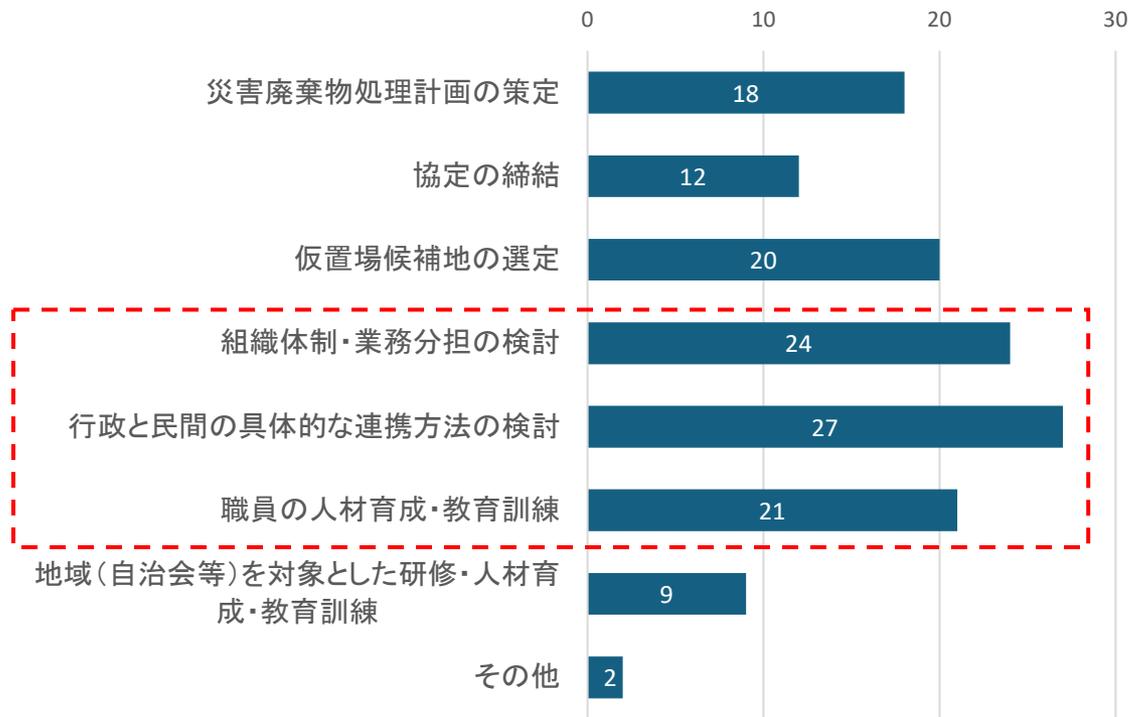
●今回のセミナーの中で、特に参考になった事項や興味を持たれた事項について、箇条書きで結構ですので以下にご記入ください。

【主な回答(抜粋)】

- 災害時のトイレ問題の深刻さ、具体的な対応
- ごみ処理については多少イメージができていたが、し尿についてはイメージがなかった。
- 焼却処理施設が近くでない場合の携帯トイレの汚物処理方法について
- 財源の確保などの裏づけのハードルが高い
- 人員確保、役割分担の明確化が必要。
- 初動における仮置場候補地の事前選定
- 仮置場設置に向けて、平時から確認すべき事項の把握及び解決、シミュレーションが必要であること。

事後アンケート結果

●今回のセミナーを通じて、貴団体で災害廃棄物対策として、準備が必要と考えられる事項はありますか。以下の選択肢からいくつかでもご選択ください。



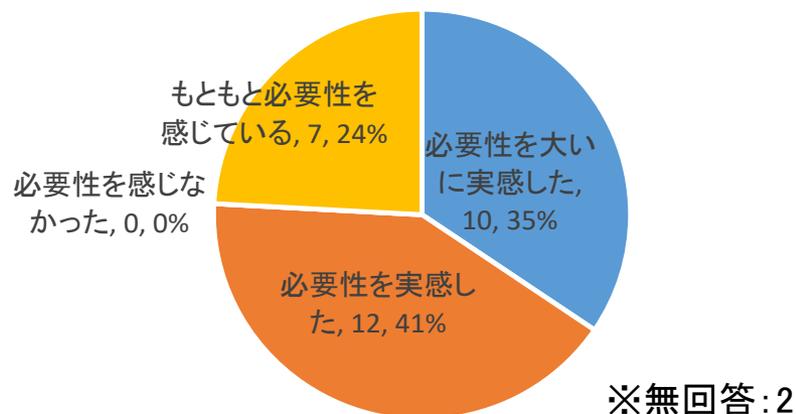
※無回答:2

【その他】

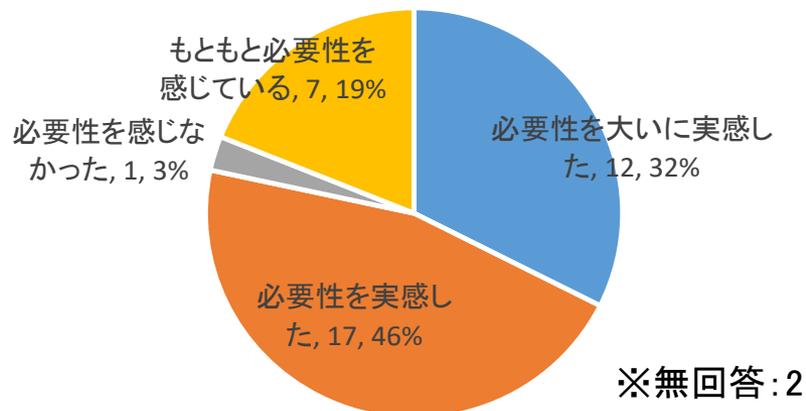
- ・災害査定時に提出する資料の明確化とシステムおよびデジタル化
- ・国の防災庁設立への期待

事後アンケート結果

●(自治体・組合の方のみ) 今回のセミナーを通じて、災害廃棄物処理計画の策定の必要性について、意識の変化はありましたか。



● 今回のセミナーを通じて、災害廃棄物処理に関する協定締結の必要性について、意識の変化はありましたか。



事後アンケート結果

●今後、災害廃棄物処理セミナーで聞きたい事項や気が付いたこと、セミナーのご感想など、なんでも結構ですのでご記入ください。

【主な回答(抜粋)】

- セミナーには、災害対応を総括する組織も一緒に参加させることが望ましいと感じた。
- 被災時の対応に関する訓練について、訓練企画者を育成する研修等を企画していただけると助かる。
- 本省で実施している、災害廃棄物対策推進検討会で議論したことの情報共有、および全国のグッドプラクティス集を勉強できる会を開催していただきたい。
- 国や自治体が災害時に備えての取組みやどのように予算化して取り組んでいるか。
- 本町においても「災害廃棄物処理計画」を策定しているが、仮置場の設置場所を具体的に選定していないなど、実際に災害が起きたら混乱するのは必至で、災害廃棄物処理への準備不足を強く認識した。
- 災害発生時に様々な作業が求められ、人手も不足する中、十分な人員を割くことは難しいながらも実施しなければリスクがある、ということに危機感を覚えた。
- 災害廃棄物処理対応について、一部事務組合の構成市町と連携して計画策定等を進める必要があると感じた。